



アーカイブノードの障害からのリカバリ

StorageGRID 11.5

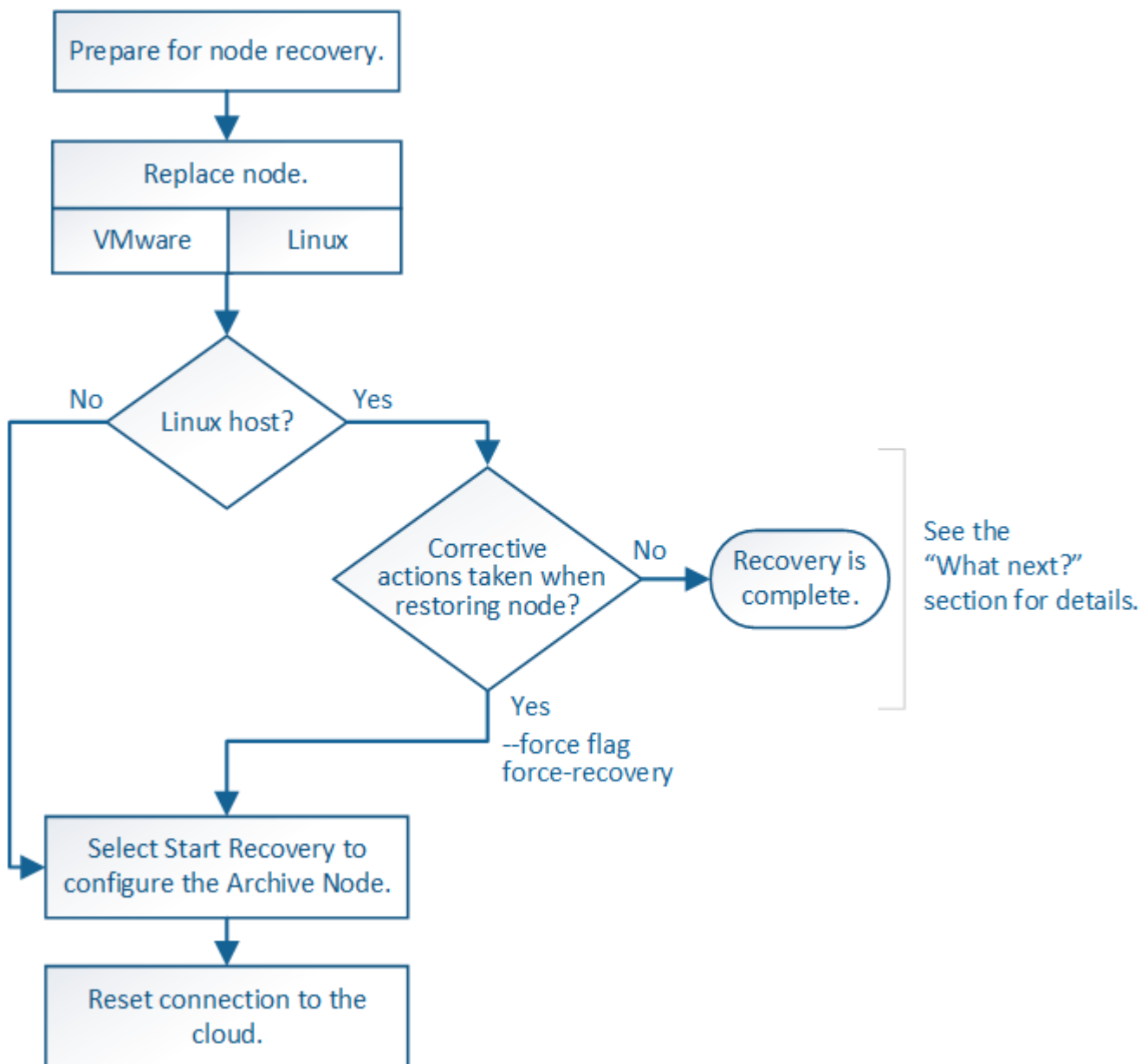
NetApp
April 11, 2024

目次

| | |
|---|---|
| アーカイブノードの障害からのリカバリ..... | 1 |
| アーカイブノードの交換..... | 2 |
| Start Recoveryを選択して、アーカイブノードを設定します..... | 2 |
| アーカイブノードからクラウドへの接続のリセット..... | 4 |

アーカイブノードの障害からのリカバリ

アーカイブノードの障害からリカバリするには、一連のタスクを正しい順序で実行する必要があります。



このタスクについて

アーカイブノードのリカバリには、次の問題が影響します。

- 単一のコピーをレプリケートするように ILM ポリシーが設定されている場合。

オブジェクトの単一のコピーを作成するように設定されている StorageGRID システムでは、アーカイブノードの障害によってデータが失われて回復できなくなる可能性があります。障害が発生すると 'これらのオブジェクトはすべて失われますが 'リカバリ手順を実行して StorageGRID システムをクリーンアップし '失われたオブジェクト情報をデータベースからパージする必要があります

- ストレージノードのリカバリ中にアーカイブノードで障害が発生した場合。

ストレージノードのリカバリの一環として一括読み出しを処理中にアーカイブノードで障害が発生した場合は、アーカイブノードから読み出したすべてのオブジェクトデータがストレージノードにリストアされるようにするには、手順を繰り返してオブジェクトデータのコピーをストレージノードにリカバリする必要があります。

手順

- "アーカイブノードの交換"
- "Start Recoveryを選択して、アーカイブノードを設定します"
- "アーカイブノードからクラウドへの接続のリセット"

アーカイブノードの交換

アーカイブノードをリカバリするには、まずノードの交換が必要です。

使用しているプラットフォームに対応するノード交換用手順を選択する必要があります。ノードの交換手順は、すべてのタイプのグリッドノードで同じです。

| プラットフォーム | 手順 |
|------------------|---|
| VMware | "VMwareノードの交換" |
| Linux の場合 | "Linuxノードの交換" |
| OpenStack の機能を使用 | リカバリ処理を対象とした OpenStack 用の仮想マシンディスクファイルおよびスクリプトは、現在は提供されていません。OpenStack 環境で実行されているノードのリカバリが必要な場合は、使用している Linux オペレーティングシステム用のファイルをダウンロードしてください。その後、手順に従って Linux ノードを交換します。 |

Start Recoveryを選択して、アーカイブノードを設定します

アーカイブノードを交換したら、Grid Manager で Start Recovery を選択して、障害ノードの代わりとして新しいノードを設定する必要があります。

必要なもの

- Grid Managerにはサポートされているブラウザを使用してサインインする必要があります。
- Maintenance または Root Access 権限が必要です。
- プロビジョニングパスフレーズが必要です。
- 交換用ノードの導入と設定が完了している必要があります。

手順

1. Grid Managerから、* Maintenance * Maintenance Tasks * Recovery * (メンテナンス*メンテナンスタスク*リカバリ) を選択します。
2. リカバリするグリッドノードを Pending Nodes リストで選択します。

ノードは障害が発生するとリストに追加されますが、再インストールされてリカバリの準備ができるまでは選択できません。

3. プロビジョニングパスフレーズ * を入力します。
4. [リカバリの開始] をクリックします。

Recovery

Select the failed grid node to recover, enter your provisioning passphrase, and then click Start Recovery to begin the recovery procedure.

Pending Nodes

| Name | IPv4 Address | State | Recoverable |
|------------|---------------|---------|-------------|
| 104-217-S1 | 10.96.104.217 | Unknown | ✓ |

Passphrase

Provisioning Passphrase

Start Recovery

5. リカバリ中のグリッドノードテーブルで、リカバリの進行状況を監視します。



リカバリ手順の実行中に [* リセット] をクリックすると、新しいリカバリを開始できません。情報ダイアログボックスが表示され、手順をリセットするとノードが不確定な状態のままになることが示されます。

Info

Reset Recovery

Resetting the recovery procedure leaves the deployed grid node in an indeterminate state. To retry a recovery after resetting the procedure, you must restore the node to a pre-installed state:

- For VMware nodes, delete the deployed VM and then redeploy it.
- For StorageGRID appliance nodes, run "sgareinstall" on the node.
- For Linux nodes, run "storagegrid node force-recovery *node-name*" on the Linux host.

Do you want to reset recovery?

Cancel

OK

手順をリセットしたあとにリカバ리를再試行する場合は、次の手順でノードをインストール前の状態にリストアする必要があります。

- * vmware * : 導入した仮想グリッドノードを削除します。その後、リカバ리를再開する準備ができた

ら、ノードを再導入します。

- * Linux * : Linuxホストで次のコマンドを実行して、ノードを再起動します。 `storagegrid node force-recovery node-name`

アーカイブノードからクラウドへの接続のリセット

S3 API 経由でクラウドをターゲットとして使用するアーカイブノードをリカバリしたら、設定を変更して接続をリセットする必要があります。アーカイブノードがオブジェクトデータを読み出せない場合、Outbound Replication Status (ORSU) アラームがトリガーされます。



アーカイブノードが TSM ミドルウェア経由で外部ストレージに接続されている場合は、ノードが自動的にリセットされるので再設定は不要です。

必要なもの

Grid Managerにはサポートされているブラウザを使用してサインインする必要があります。

手順

1. Support > Tools > Grid Topology *を選択します。
2. アーカイブノード* ARC *ターゲット*を選択します。
3. 誤った値を入力し、* 変更の適用 * をクリックして、* アクセスキー * フィールドを編集します。
4. 正しい値を入力し、* 変更の適用 * をクリックして、* アクセスキー * フィールドを編集します。

著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。